



タイの休日

Holiday Time in Thailand



北部

ミャンマー

ラオス

ベトナム



東北部

ラオス

中央部

カンボジア

南部

アンドンマン海

amazing
THAILAND

… 右ページで紹介している県・市

 ...世界遺産

ガイドブックを見る



マレーシア

北部 マウンテンリゾート

タイ最高峰ドイ・インタノン有し、緑豊かな山岳地帯が広がる北部。「北方のバラ」と称される古都チェンマイを中心に、世界中から訪れる多くの観光客で賑わっています。

パワースポット



ワット・プラタート・ドイ・ステープ チェンマイ県

チェンマイ中心部から車で約40分

標高1,080mのステープ山頂にある寺院。今から約650年以上前にタイ北部を統治していたクナ王によって建立されたと言われています。チェンマイを代表する観光スポットで、この寺院に参拝しないとチェンマイを訪れたことにはならないといわれるほどの名所です。

伝統工芸



ボーサーン・アンブレラ・ビレッジ チェンマイ県

チェンマイ市内から車で約30分

タイ北部の伝統工芸傘の作業工程や絵付けを見学することができます。ボーサーン村は紙漉きから骨組み、紙張り、色・模様・油塗りなど伝統的な方法で傘を生産してきた地域。タイ国政府観光庁が1975年米国の旅行博で飾ったのをきっかけに、世界的に知られるようになりました。

バンコク 首都

1782年にラーマ1世によって遷都されて以来、タイの政治・経済・文化の中心地として発展を続ける首都。先進的な国際都市でありつつも、厳かな仏教文化が今も息づいています。

エメラルド寺院



ワット・プラ・ケオと王宮 バンコク

ターチャン船着場より徒歩約5分

王室の守護寺院で、最も格式高くきらびやかな寺院。1782年、ラーマ1世が現在の王朝であるチャクリー王朝を設立したときに護国寺として建てられました。敷地内の黄金の仏塔には仏舎利(仏陀の遺骨)が納められています。エメラルドブッダは季節に合わせて年3回衣替えします。

ねはん寺



ワット・ポー バンコク

MRTブルーライン・サナムチャイ駅より徒歩約5分

東洋医学に基づくタイ古式マッサージの総本山。ラーマ3世によって医学の府とされた寺院。涅槃仏は全長46m、高さ15m。仏像の足の裏には仏教の世界観を現した108の図が、美しい螺鈿(らでん)細工(貝殻を研磨して模様にはめ込んでいく装飾方法)によって描かれています。

世界遺産



アユタヤ歴史公園 アユタヤ県

バンコクから車で約1時間半

チャオプラヤー川とその支流に囲まれた中州にあるアユタヤは、14世紀に400年余りの栄華を誇ったアユタヤ王朝の首都でした。東南アジア諸国との貿易で国際商業都市として繁栄し、荘厳な寺院や黄金に輝く仏塔、優美な王宮が建設されましたが、18世紀にビルマの侵攻により衰退しました。

東北部 イサーン

東北20県は、国土の3分の1を占める広大な地域。のどかな田園風景や先史時代の遺跡など、タイの原風景に触れることができます。東北部のことをタイ語で「イサーン」と呼びます。

太古のロマン



恐竜のふるさと コーンケン県 カラシン県

バンコクからコーンケン県まで飛行機で約1時間

1994年に恐竜の化石が発掘された後、このエリアから次々と化石が発見されています。約1億数千万年前の白亜紀には多くの恐竜がいました。近年、保存状態の良い化石が数多く出土しており「コーンケン、カラシンと言えば恐竜」というイメージも定着しつつあります。

南部 ビーチリゾート

マレー半島の基部から延びてマレーシアと国境を接する南部。西はアンダマン海、東はタイ湾に面し、世界的にも有名な美しいビーチリゾートが数多く点在する地域です。

アンダマン海の真珠



タイ最大の島 プーケット県

バンコクから南へ約1時間半

パトン・ビーチでは、エンターテインメントや買い物などが楽しめる施設が充実していて、アクティブ派の観光客に人気です。旧市街プーケット・タウンはすずの採掘・交易が盛んだった時代に、ポルトガル人や福建省出身の中国人が訪れ街を作り上げてきた歴史を今に伝えています。



世界遺産

古代都市スコタイと周辺の古代都市群 スコタイ県

 バンコクから北へ約1時間

1238年にタイ初の独立王朝として華麗な時代が刻まれた地。スコタイは「幸福の夜明け」を意味し、現在のタイの礎を築いた重要な都市です。旧市街とその周辺には、大小200以上の遺跡が点在し、1991年に世界文化遺産に登録されました。



象の病院

タイ象保護センター ランパーン県

 バンコクから北へ約1時間

世界で唯一、象の病院があり、農作業などでケガを負い、働けなくなった象を保護し、専門の獣医がケアしています。象とタイの人々との関わり合いや象が大好きな水浴びの様子を見学することができます。



銀の寺

ワット・シースパン (シルバー・テンブル) チェンマイ県

 チェンマイ旧市街チェンマイ門からソントウなどで約5分

1500年マンラーイ王朝時代に、ブラ・ブッタパティハーン仏像を奉納するために建てられました。建築はランナー様式の石組みで、繊細な彫刻の上にアルミと銀の装飾が施されています。銀細工の村の村人が本堂を銀で改修したことで、2008年に本堂が現在の銀一色になりました。



古都巡り

花馬車 ランパーン県

ランパーン市内

タイで最初のコンクリート造りの橋であるラチャダベーク橋から始まり、植民地建築、ランナーとビルマの建築様式がユニークに混ざり合った古い木造の家が建ち並びカード・コン・ター地域、そしてワッタナータム通りの古い寺院を花馬車で巡るコースがおすすめです。



暁の寺

ワット・アルン バンコク

 エクスプレスポートでワット・アルン船着場へ

アルン=夜明けを意味し、名前がヒンドゥー教の神アルナに由来するタイで最も有名な寺院のひとつ。朝日が昇る時には寺院に反射し真珠のような虹色の輝きを放ちます。建立はアユタヤ時代。本堂はラーマ2世の統治中に建てられ、台座にはトンブリー王の遺灰が納められています。



大理石寺院

ワット・ベンチャマボピット バンコク

 バタイ駅からタクシーで約10分

イタリア産大理石を使用したクラシックな外観やステンドグラスの窓が美しいヨーロッパテイストのタイ建築です。本堂にある金色の仏像は、スコタイ時代(1238～1438年)のタイで最も美しい仏像と称されるブラ・ブッタ・チンナラートの青銅製レプリカです。



日本とゆかりある地

日本人村 (アユタヤ日本人町跡) アユタヤ県

 バンコクから車で約2時間

16世紀初頭、御朱印船貿易に携わっていた日本人が建設。最盛期2,000～3,000人以上もの日本人が住んでいました。当時の日本人町の町長であった山田長政は、22代ソンタム王から官位を与えられるほど大活躍しましたが、1630年に憤死。日本の鎖国で18世紀初めにはこの町も消滅しました。



芸術的な天井画

ワット・パークナム バンコク

 MRT ブルーライン バンバイ駅より徒歩約12分

アユタヤ時代に創設された歴史ある王室寺院として知られています。タイ僧侶統制とタイ僧侶のバーリー語教育の中心としての寺院、そして、前僧正ルアンポーソッドと呼ばれたプラモンコンテームニー師の坐禅・瞑想の理論も全国的に有名です。2021年には瞑想の姿勢としては世界で最も高いといわれている高さ69mのブロンズでできた黄金の仏像も完成しました。



バンコクから日帰り旅行

パタヤ・ビーチ チョンブリー県

 バンコクから車で約2時間

タイ湾に面し南北に弧を描いたパタヤ・ビーチは、約4km続くパタヤのメインビーチ。ビーチにはカラフルなパラソルが並び、パラセーリング、バナナボートなどのマリンスポーツを楽しむことができます。また、ここはパタヤ沖の島々を訪れるボートの発着地にもなっています。



映画「戦場に架ける橋」の舞台

クウェー川鉄橋 カンチャナブリー県

 カンチャナブリー市内より鉄道またはソントウでクウェー川鉄橋駅にて下車

第二次世界大戦中、日本軍が敷設した泰緬鉄道が通るクウェー・ヤイ川に架けられた全長約330mの橋。戦後修復されましたが、アーチ部分はオリジナルで当時の面影を残しています。対岸まで徒歩で渡ることでもでき、途中には列車通過時に待避できる場所もあります。



紅い睡蓮の海

タレー・ブア・デー ウドンターニー県 (ノーンハーン湖)

 ウドンターニー市街から車で約40分

総面積約36km²の広大な湖では、12月から2月にかけての早朝、水面が睡蓮の花で埋め尽くされ、その名の通り湖が紅く染まる幻想的な景色を見ることができます。1月半ばにはお祭りが催されます。満開の時期には、ボートも出ているので、湖を周遊することも可能です。



タイ最大のクメール遺跡

ピマイー歴史公園 ナコンラーチャシーマー県

 ナコンラーチャシーマー市内から車で約1時間

11～12世紀ごろタイ东北部一帯に勢力を拡大したクメール王朝により、石造神殿が建設されました。堀に囲まれた565m×1,030mという大規模な敷地、正面が南のクメールの王都に向いていたことなどから、当時タイ东北部に点在していた小国家とクメール王朝をつなぐ宗教的な結節点だったと考えられています。



マヤ湾は映画「ザ・ビーチ」の舞台

ピピ諸島 クラビ県

 クラビの港から船で約1時間半

珊瑚礁に美しいラグーン、そしてココナツ林に覆われた、まさに秘島と呼ぶにふさわしいピピ諸島。エメラルドグリーン美しい海を求め世界中のダイバーが集まります。6つの島からなるピピ諸島の中でも最大のピピ・ドン島は宿泊施設や港・お土産屋などがある中心地です。



タイで3番目に大きい島

サムイ島 スラターニー県

 バンコクから南へ約1時間

ココナツ林に覆われた深緑のリゾートアイランド。ビーチ沿いには高級リゾートからバンガローまで様々なタイプの宿泊施設が建ち並んでいます。ジンバイザメに会えるチャンスがあるとダイバーたちに人気のタオ島やサンゴ礁の島ナンユアン島などへのアクセスも良く、アクティビにリゾートステイを楽しみたい人にもおすすめです。



白い寺

ワット・ロンクン (ホワイト・テンブル) チェンライ県

チェンライ市内から約14km

チェンライ出身の芸術家チャルーンチャイ・コーシピバット氏が仏教や神話をモチーフにデザインした白亜の寺院です。真っ白なデザインの建築は斬新で、フォトジェニックな寺院としても有名です。チェンライの新しいランドマークとして、多くの観光客が訪れる人気スポットです。



青い寺

ワット・ロンスアテン (ブルー・テンブル) チェンライ県

チェンライ市街から空港方向へ約4km

ワット・ロンクンの建築家の弟子によって建築されました。仏教や神話をモチーフにしており、熟練した職人の感性と技が生み出す独特な雰囲気の寺院です。本堂の守護神ナーガは、チェンライの名所の一つ「バンダム・ミュージアム」を設立した芸術家の工芸品がモチーフです。



国境の町

ゴールデン・トライアングル チェンライ県

チェンライ市街から車で約1時間

タイとラオスの間を流れるメコン川とタイとミャンマーの間を流れるルアック川が合流し、3国が国境を接する黄金の三角地帯です。ビューポイントからは、雄大な景色を望むことができます。メコン川遊覧ボートを利用したクルージングが人気です。



タイのモナ・リザ

ワット・プーミン ナーン県

ナーン空港から南に約4.5km

「大地に共鳴する愛のささやき、または、ささやく人」という壁画で有名な寺院です。プー・マン（マンおじさん）がヤー・マン（マンおばあさん）の耳に手を当ててささやいていて、二人の愛の深さが想像できます。また、寺院の階段両脇にあるナーガ（蛇神）は迫力満点です。



東南アジア最大級のターミナル駅

クルンテープ・アピワット中央駅 バンコク

MRT(地下鉄)ブルーライン・バンズー駅
SRT(国鉄)タークレッドライン・バンズー駅直結

「バンズー中央駅」と呼ばれていた東南アジア最大級のターミナル駅はラーマ10世により「クルンテープ・アピワット中央駅」と改名。ドンムアン空港からSRTやMRTも乗り入れており都心からのアクセスも良くバンコクの新たな交通の要となっています。



都会のオアシス

ベンチャキティ森林公園 バンコク

MRT(地下鉄)ブルーライン・イーンシリキット・ナショナルコンベンションセンター駅から徒歩約6分

タバコ工場跡地に都市計画で誕生したバンコク初の森林公園。1992年シリキット王妃(当時)が御生誕60周年の記念に公園の名付け親となり、王妃の助言により園内は一年を通して様々な花が咲き乱れています。隣のルンビニ公園までは遊歩道が繋がっており、散策しながら20分ほどで移動できます。



タイで2番目に大きい島

チャーン島 トラート県

ナチュラル・ベイ船着場から
アオ・サップボット船着場まで所要時間約25分

ブーケットについてタイで2番目に大きな島。島が象の形に似ていることからタイ語で象の島=チャーン島と名付けられました。海洋国立公園でもありダイビングやシュノーケリングを楽しむことができます。5〜6月にはマングローブ林の中でホテルを見ることができます。



現地の人々に人気の島

サメット島 ラヨーン県

バンコク市内からラヨーン中心部まで車で約4時間

ラヨーン・ビーチ南東の沖合い、約7km地点に位置するサメット島は、タイの人々やバンコク在住の外国人に人気の旅行先。島内にあるほとんどのビーチには数十軒の宿泊施設やバー、レストランがありキャンプすることもできます。ラヨーン県はナンブラーの醸造でも有名です。



タイ最古の駅舎

ホアヒン駅 プラチュアップキリカン県

バンコクから列車で約3時間半

ビクトリア朝の影響を受けた赤とクリーム色が目を引くバビリオンは王室専用の待合室。元は、毎年全国のお警団を訪問し、戦術訓練を視察するラーマ6世のために造られた王室専用駅舎でした。待合室の部屋は、ナコーンパトム県のサナムチャン宮殿から移築されました。2023年12月、2階建ての新駅がオープンしました。



果物の三大産地

フルーツフェスティバル ラヨーン県、トラート県、チャンタブリー県

トラート県はバンコクから飛行機で約1時間

ランブータン、ドリアン、マンゴスチン、パイナップルなどの果物が最も熟す5月〜6月に豊作を祝ってフルーツフェスティバルが行われます。色鮮やかなフルーツと花で飾られた山車のパレードが見ものです。主要な道路沿いでは、旬の果物が売られています。



精霊仮装祭り

ピーターコーン祭り ルイ県

ルイ県ダンサー市内各所

有名な仏教説話をもとにした雨乞いや厄払いのお祭りで、毎年6月〜7月頃開催されます。精霊に仮装した若者達が崇高な仏像と練り歩く色彩やかな活気に満ちたピーターコーン・パレードや仮面ダンスのコンテストなどが見どころです。



タイ全土から象が集結

象祭り スリン県

会場まではタイ国鉄スリン駅から車で約10分

古くから象を大切にし、深い関わり合いを持つスリンの村ならではの祭事です。毎年11月にタイ全土から約200頭以上の象が集結し、象のパレードや丸太運びなど、生活を共にしてきた象が織りなす壮観なお祭りを一目見ようと世界中から観光客が訪れます。



映画「007 黄金銃を持つ男」のロケ地

ジェームズ・ボンド島 バンガー県

バンガー湾を巡るクルーズツアーが便利

海洋国立公園として指定されているバンガー湾。大きなくさびを海に打ち込んだような形のジェームズ・ボンド島(タブー島)は人気です。そそり立つ石灰岩の崖の足元に「海の民」モーケン族(チャオレーとも呼びます)が水上の村をつくって生活しているパンイー島も必見です。



手つかずの自然の宝庫

ダイビングスポット トラン県

バンコクから飛行機で約1時間25分

石灰岩の岩山や美しい珊瑚礁の島々が印象的なトラン。県土の約3分の2が国立公園に指定されています。陸から少し足を延ばせば、珊瑚礁に守られた魚たちの楽園が広がっています。海水の透明度が高いことで知られるクラダーン島、ムック島、チュアック島などが特に人気のダイビングスポットです。

世界遺産

普遍的価値がある場所として過去から受け継ぎ、次世代に受け継ぐため保護されている魅力的なタイの世界遺産をご紹介します。



文化遺産 古代都市スコタイと周辺の古代都市群

1991年登録

「幸福の夜明け」を意味するその名の通り、タイ族による最初の王朝が開かれました。現在のタイの礎を築いた都として重要視されています。



シーサッチャナーライ
歴史公園



ワット・シーチュム
屋根のない立方体の建築
スコタイ王朝第2の都市
物の中に、降魔印を結んだ
として栄え、副王が住んで
いたとされる丘のほど近い
巨大な石仏が納められて
います。
遺跡群です。

文化遺産 古代都市シーテープと関連するドヴァーラヴァディー遺跡群

2023年登録

スコタイ王朝が勃興する13世紀以前に建設されたと考えられている1,000年以上の歴史を持つ古代の町です。天国に昇る前の神聖な領域である信じられていたため、かつてこの町に住む人は誰もいなかったといわれています。



文化遺産 バンチェンの古代遺跡

1992年登録

市街地から車で東へ約1時間。紀元前2500年にさかのぼる先史時代の貴重な遺跡です。遺跡が発掘された状態を保存した遺構を見学することもできます。



世界遺産について
もっと知りたい方は
こちら



自然遺産 トウンヤイ・ファイカケン野生生物保護区群

1991年登録

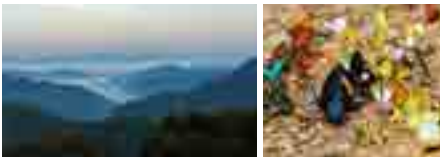
3つの県にまたがる広大な野生生物保護区。絶滅危惧種が生息する貴重な原生地域。



自然遺産 ケークラチャン森林群

2021年登録

タイ最大の国立公園



無形文化遺産



タイ仮面劇「コーン」
2018年登録

無形文化遺産



タイ古式マッサージ
2019年登録

無形文化遺産



タイ南部の伝統舞踊
「ノーラー舞踊」
2021年登録

無形文化遺産



水かけ祭り
「ソングラン」
2023年登録

無形文化遺産



タイ料理
「トムヤムクン」
2024年登録

無形文化遺産



地域伝統衣装
「ケバヤ」
2024年登録



文化遺産 古都アユタヤ

1991年登録

古都の歴史が眠る街・アユタヤ。当時の栄華を今に伝える遺跡群は歴史公園として整備されました。夜はライトアップされ、幻想的な美しさで訪れる人々を魅了しています。



ワット・プラシーサンペット
1448年に建立され、アユタヤ王宮内で最も重要な王室専用寺院でした。



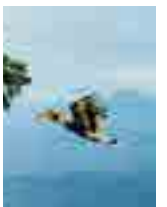
ワット・マハタート
13世紀に建造され、仏舎利が納められた重要な寺院のひとつ。

自然遺産 ドン・パヤーイェン・カオヤイ森林群

2005年登録

東北部4県にまたがる広大な森林群。4つの国立公園とひとつの保護区からなり、そのひとつカオヤイ国立公園はバンコクから205kmと車でのアクセスも良好。

コラート・ジオパークはユネスコ世界ジオパークに2023年登録。



持続可能な責任ある観光(STGs)



サステナブルツーリズムとは、『持続可能な観光』という社会や環境などに配慮し、影響を最小限に抑えて観光を実現することです。観光者側・観光を提供する側・地域側など全ての関係者に責任を持つ観光であることが求められます。

タイ国政府観光庁(TAT)は国連開発計画による17の持続可能な開発目標(SDGs)に沿った独自の持続可能な観光目標(STGs)を策定し、実施しています。STGsは、持続可能な観光加速評価(STAR)システムでタイの観光産業全体を網羅しています。目標を遵守する事業者は、それに対応する星の数を獲得し、事業者がSTARの認証を受けています。



タイの魅力体験

豊かな自然に恵まれ、荘厳な仏教文化が根付き訪れる人々を魅了する国、タイ。
タイならではの伝統や文化に触れる体験をご紹介します。



パワー スポット



ピンクガネーシャ

ワット・サマーン・ラッタナーラームは、バンコクから車で1時間半ほどのチャチュンサオ県にあるお寺です。祈願成就までのスピードが大変速いご利益寺として地元でも人気。バンコク発の半日ツアーを利用するのがおすすめです。願い事をするときはネズミの耳で囁きます。ネズミの反対側の耳から願い事が漏れないように手で押さえるのがポイントです。



水上マーケット

新鮮な果物や地元食材を山積みにした小舟が運河を行き交い、景気のいい売り声が飛び交っています。土産屋もあり、買い物も楽しめます。早起きして、活気のある午前9時頃までに見学するのがよいでしょう。バンコク市内を午前6時半～7時頃に出発する日帰りツアーが人気です。



グルメ

「辛・甘・酸・塩・旨」という5つの味の組み合わせに、さまざまなハーブやスパイスと新鮮な素材の味と香りが複雑に絡み合っ、奥深い味わいが生まれます。屋台でもレストランでもローカル食堂でも、おいしくてヘルシーなタイ料理を思う存分堪能できます。近年では、ミシュランの星を獲得したレストランも増えています。



マラソン

異国情緒あふれるタイのマラソン大会。年間300以上の大会が開催されるマラソン大国です。マラソンコースは、仏塔がならぶ世界遺産の街や、常夏のビーチリゾート、高層ビルが林立する大都会、さらに熱帯雨林の国立公園とバラエティー豊か。フルマラソンに加えてハーフマラソンやファンランを同時開催することが多いため、幅広いランナーが楽しめるのも魅力のひとつです。



ナイトマーケット

掘り出し物が見つかる地元で人気の夜市は、夕方から深夜まで種類豊富な露店で賑わいます。日用品、食料品、雑貨やアロマ製品などお土産にぴったりのアイテムが見つかるはず。値段交渉に挑戦して地元の人とコミュニケーションをとるとより楽しめます。



メークローン鉄道市場 (タラート・ロム・フップ)

サムット・ソンクラーム県メークローン駅近くには、現役で使用している線路脇に野菜や果物などの商店が所狭しとひしめき合う傘たたみ市場があります。列車が通り過ぎると再びテントやパラソルを広げて商売を再開します。



ルーシーダットン

ヨーガに似たタイ式健康法。バンコクのワット・ポーでは、毎朝8時頃から30分ほど、タイ人インストラクターの指導のもとルーシーダットンを無料で体験することができます。歴史ある寺院で過ごす清々しいひととき。きっと心も体も元気になることでしょう。雨天中止。要ワット・ポー拝観料



伝統舞踊を習う・観る

繊細でしなやかな動きで感情を表現するタイの伝統舞踊。経験がなくとも基礎的な動きを学べる1～2時間の体験コースが人気です。民族衣装を着て記念撮影をすれば旅の思い出になります。国立劇場やレストランで観賞もできます。



ムエタイ

タイの国技「ムエタイ」は立ち技世界最強格闘技といわれるタイ式キックボクシングです。スタジアムでは、大歓声のなかで熱戦を楽しむことができます。バンコクの都心部では、観光客でもエクササイズができる施設が数多くあります。プロの試合観戦から気軽に体験できるムエタイジムまであります。



紅い睡蓮の海

1月～2月上旬の満開の時期には有料ポートで2時間ほどかけて湖を周遊することができます。おすすめの時間帯は早朝。まだ夜が明けないうちにホテルを出発し、ポートに乗り込んで湖上で日の出を待ちます。美しい朝日にキラキラと照らされた睡蓮の絶景は、一見の価値あり。



エレファントケア

持続可能な観光の一環として、観光産業に従事する象を大切にしています。動物福祉活動を推進し、旅行者の意識を高め、象と生活を共にするパートナーとして正しいアプローチの仕方など象との付き合い方を学ぶことができます。



ダイビング

世界中のダイバーが集う聖地・アンダマン海や、世界でもまれに見る特種な海域タイ湾など、カラフルな水中景観、魚影の濃さ、そしてダイバーたちの憧れであるジンベエザメやマンタといった「大物」に出会えるチャンスがあるのがタイの海の魅力です。



タイ国政府観光庁
マスコットキャラクター
「ハッピーちゃん」

それぞれの体験
についてもっと知
りたい方はこちら



イベント&フェスティバル

1月 コーンケーン国際マラソン / コーンケーン県
第3金・土・日
ポーサーン傘祭り / チェンマイ県

2月 第1土・日
チェンマイ花祭り / チェンマイ県
トラン水中結婚式 / トラン県

3月 ※ワールド・バイクルー・ムエタイ・セレモニー / アユタヤ県
※ボイ・サン・ロン / メーホンソン県
パタヤ国際音楽祭 / チョンブリー県

4月 4月13~15日
タイ正月ソンクラーン(水かけ祭り) / 全国

5月 ブン・パンファイ (ロケット祭り) / ヤソートーン県

6月 ラグーナ・ブーケットマラソン / プーケット県
6月3日
スティダー王妃誕生日/全国
アメージングタイランド・グランドセール / 主要観光都市
※ピーター・コーン・フェスティバル / ルーイ県

7月 パタヤマラソン/チョンブリー県
キャンドルフェスティバル / ウボンラーチャターニー県
7月28日
ワチラロンコーン国王陛下下生誕日/全国

8月 8月12日
シリキット王太后誕生日/全国

8月9月 ホアヒン&チャム・ゴルフフェスティバル / プラチュアアップキリカン県

10月 ベジタリアン・フェスティバル / プーケット県

11月 光のポートバレードフェスティバル / ナコーンパノム県
バンコクマラソン / バンコク
第3土・日
象祭り / スリン県
※ロイクラトン祭り / 全国

12月 12月5日
ラーマ9世生誕日 / 全国
※アメージングタイランド・マラソン・バンコク / バンコク
チェンマイマラソン / チェンマイ県
アユタヤ世界遺産祭り / アユタヤ県
12月31日
カウントダウン / 全国

※年によって開催月が変わるイベント

インフォメーション

国名 タイ王国
(タイ語名: プラテート・タイ)

国旗

首都 バンコク
(タイ語名: クルンテープ・マハナコーン)

国花 ゴールデンシャワー
(タイ語名: ラーチャブルック=「王の樹」)

国歌 プレーン・チャート
(タイ王国国歌)
駅やバスターミナルなど公共機関では毎朝8時と夕方6時の2回流れ、その間人々は直立不動で国に敬意を表します。

時差 日本 ⇄ タイ
午前10時 ⇄ 午前8時
マイナス2時間

通貨 タイ・バーツ
(2025年10月現在1バーツ=約4.6円)

人口 6,593万人
2025年2月現在

面積 51万3,115km²
日本の約1.4倍

季節 乾期 暑期 グリーンシーズン 乾期
1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

気温 年間を通じて1日の平均気温27~30℃

入国カード TDAC 2025年5月以降タイ入国時には紙の入国カードに代わりTDAC(デジタル到着カード)の事前申請が義務化され、入国の72時間前から当日までに公式サイトでの申請が必要です。

喫煙 マナー レストランを含む建物内は、喫煙所以外全て禁煙であり、路上への吸い殻やゴミのポイ捨て、唾を吐く行為も処罰の対象となります。電子加熱式たばこ関連する付属品のタイへの持ち込みは禁止されています。違反した場合は10年以下の懲役または50万バーツの罰金のいずれかが科せられます。

パスポートとビザ 日本国籍を有し、タイ入国後60日(59泊60日)以内の観光目的の滞在の場合、ビザなしで入国することができます。国際規定によりパスポートの残存期間は、タイ入国時より6か月以上あることが推奨されています。60日以上滞りを予定されている方、あるいは観光目的以外で入国される方は事前にタイ王国大使館・領事館においてビザを取得してください。各航空会社によりパスポート残存期間の規定が異なるため、ご利用になる航空会社にお問い合わせください。

在東京タイ王国大使館 一般 TEL:03-5789-2433
VISA課 TEL:090-2529-7787
www.thaiembassy.jp
タイ王国大阪総領事館 TEL:06-6262-9226 www.thaiconsulate.jp
在福岡タイ王国総領事館 オフィス:092-739-9088 領事部:092-739-9090
https://fukuoka.thaiembassy.org/jp/
大使館・領事館 電話対応時間 15:30~17:30

酒類 酒類の販売時間規制
仏節・選挙前の酒類サービス禁止:仏教の日が年に数日あり、それらの日にはアルコール類の販売は法律で禁止されています。また選挙前日や選挙当日もアルコール類の販売は禁止されています。なお、アルコール類を販売して良い時間は通常11時~14時、17時~24時です。

連絡先 いざという時の連絡先
ツーリストポリス・コールセンター 局番なし:1155
スワンナプーム国際空港内 02-132-6596
ドンムアン空港内 02-5351-641
在タイ日本大使館人権課 02-207-8502

電圧 電圧は交流220V(50Hz)で、プラグはBF、Aタイプ、Cタイプ。主要都市のほとんどのホテルが日本と同じAタイプに対応しています。

タイ国政府観光庁

東京事務所 〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル南館2F ☎(03)3218-0355 ☎(03)3218-0655 ✉info@tattky.com

大阪事務所 〒550-0013 大阪市西区新町1-4-26 四ツ橋グランドビル ☎(06)6543-6654,6655 ☎(06)6543-6660 ✉info@tatosa.com

福岡事務所 〒812-0027 福岡市博多区下川端町2-1 博多バレインイーストサイト11F ☎(092)260-9308 ☎(092)260-8181 ✉info@tatfuk.com

詳しくは「タイ国政府観光庁」を検索
<日本語>
www.thailandtravel.or.jp
<英語>
www.tourismthailand.org

ソーシャルメディアで
タイの魅力を発信中

「タイファンクラブ」
メルマガの登録は
こちらから